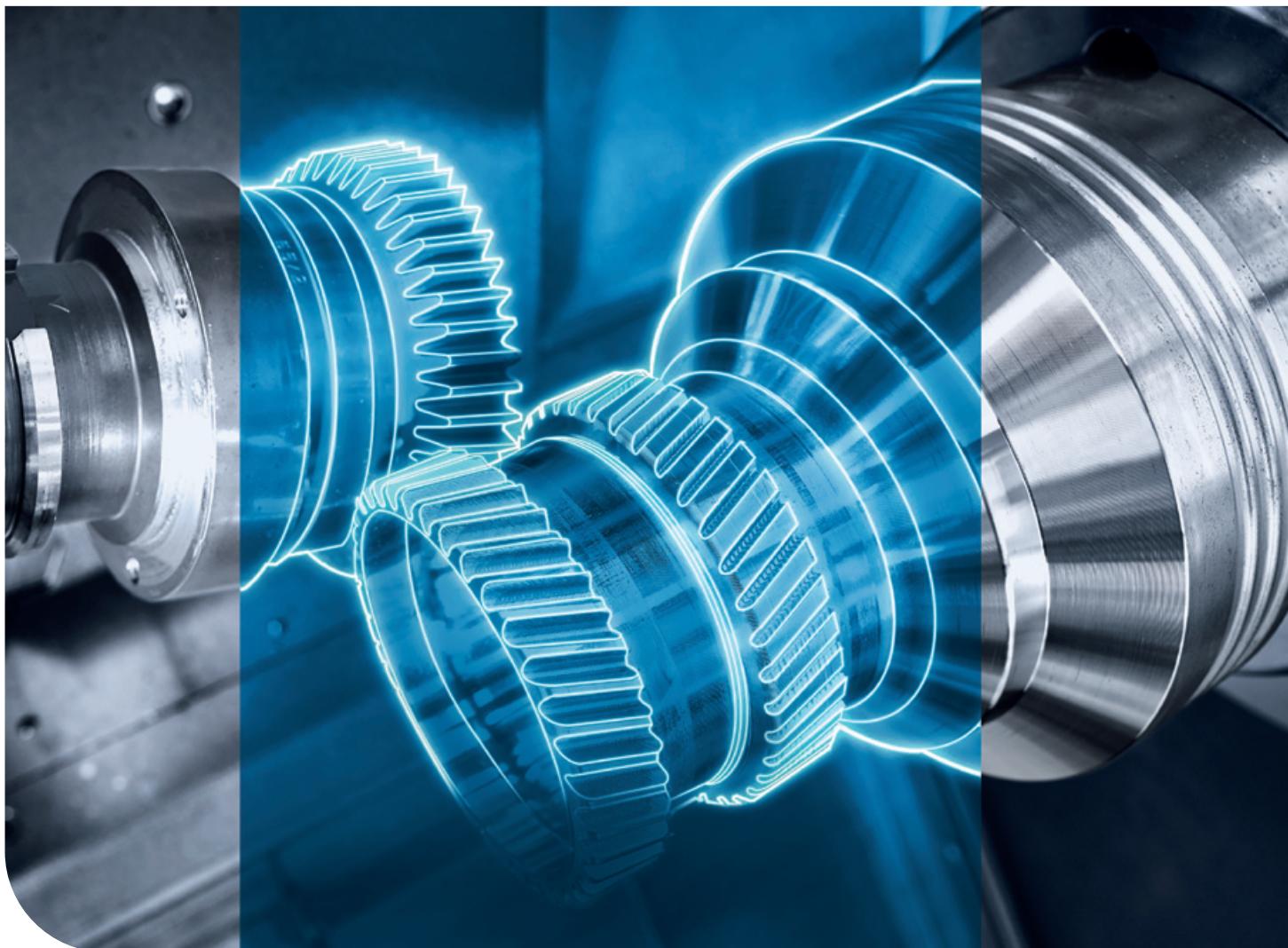


# 第69期中間 | 株主通信

2016年1月1日●2016年6月30日



DMG森精機株式会社

証券コード: 6141

**DMG MORI**

## お客様にとって一番の 工作機械メーカーであること。 それが私たちの グローバルワンです。

工作機械の総合メーカーとして、DMG森精機は常に  
変革と挑戦を続けてまいりました。そして今、  
私たちが目指していること。それは、お客様にとって一番の  
工作機械メーカーになることです。最高の技術とサービスを  
絶えず追求し、工作機械の新しい価値を、無限の可能性を、  
世界中のお客様へお届けしてまいります。

取締役社長  
工学博士 森 雅彦



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、心より  
お礼申し上げます。ここに第69期中間期（2016年1月  
1日から2016年6月30日まで）の株主通信をお届け  
するにあたり、ごあいさつ申し上げます。

### ■ 事業の経過及び成果

当第2四半期連結会計期間における業績は、売上収益は185,320  
百万円（1,486,962千EUR）、営業利益は3,408百万円（27,347  
千EUR）、税引前四半期利益は2,340百万円（18,780千EUR）、  
親会社の所有者に帰属する四半期利益は725百万円（5,820  
千EUR）となりました。（ユーロ建表示は2016年1月から6月の期中  
平均レート124.6円で換算しております）

工作機械の需要につきましては、国内市場では円高の進行や補助金を  
見据えた発注待ちから、前半の受注は力強さを欠いておりましたが、  
7月には補助金が採択され受注は回復しました。北米市場は直販  
体制によるお客様へのソリューション提供が軌道に乗りつつあり、北米  
受注は順調です。欧州市場は、底堅く推移しております。中国市場は、

受注は横ばいでの推移となっております。中国を除くアジア市場は、  
国別に需要の良し悪しの温度差があります。台湾、ベトナム、インドでの  
受注は健闘しております。その他の地域においても、概ね底打ちした  
ものと考えており、今後の回復を見込んでおります。

2015年の当社の生産は、ドイツの連結対象会社DMG MORI  
AKTIENGESELLSCHAFT（以下、DMG MORI AG）を含めて、  
11,300台、売価換算ベースでの生産金額は3,300億円程度に達して  
います。国内マシニング市場においては、DMG MORI AGの5軸  
加工機が漸次浸透してきており、今後は国内マシニングセンタ市場に  
おける当社のプレゼンスは益々高まっていくものと見込んでいます。

### ■ 当中間期の取り組みと課題

事業活動につきましては、ソリューション提供の強化を推進して  
おります。最先端の技術を集約した機械本体とHuman Machine  
Interfaceとして、ハードウェアであるERGOline® TouchやCELOSを  
上位ソフトとするMAPPS及び各種組込ソフトウェアを融合させると共に、  
工具、治具、測定器、ロボット等の周辺機器パートナーとのオープン

イノベーションにより生産設備のトータルソリューションの提供を行って  
います。中でも自社開発インターフェイス、ソフトウェア及びそこから収集  
する膨大な情報を解析し、当社が蓄積してきたノウハウと組み合わせ、  
お客様の加工をサポートするTechnology Cyclesを充実させ、  
全世界で開催される展示会、オープンハウスでご紹介しています。  
Technology Cyclesを、現在ハンドリング、計測、形状、モニタリングの  
4つのフィールドに分類し、合計24種を提供しており、更に拡大強化して  
いきます。また、社内工場の更なる製造効率改善のために伊賀事業所を  
スマートファクトリーと位置付け、組立作業の見える化、進捗管理  
システムを導入するなど、発注、作業工程、品質、在庫のタイムリーな  
管理体制の構築を進めております。CELOSを通して収集された機械の  
稼働状態、センサーからの各種情報、加工データ等のBIG DATAを  
解析することで、機械の設計改善だけでなく、機械の故障を事前に  
把握するための予防保全にも役立たせるなどお客様の生産性と効率性の  
向上のための仕組み作りにも取り組んでいます。

製品開発につきましては、最も競争力のある標準機CMX Vシリーズを  
今後販売します。本機種は、全283種類におよぶオプションを標準化し、  
お客様の多様なニーズにカスタマイズ可能な上、Technology Cyclesの

搭載も可能となっており、お客様の利便性、価値向上に大きく貢献する  
ものと確信しております。

今年度は、昨年4月のDMG MORI AGとの連結化及び9ヶ月間の  
変則決算等により、前年との業績比較が困難な状況であります。しかし、  
DMG MORI AGとの完全一体経営に必要なドミネーション・  
アグリーメントが8月24日に発効し、来年度からは前年との比較や統合  
効果を含めて、よりわかりやすくご説明できるものと存じます。何卒  
ご理解いただきますようお願い申し上げます。

### ■ 配当について

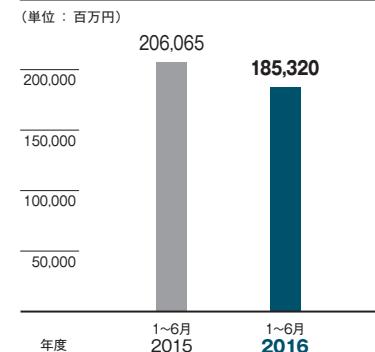
第69期の中間配当につきましては、当社の業績と経済情勢を勘案し、  
1株あたり13円を9月16日からお支払いすることといたします。利益配分  
につきましては、将来の事業計画、業績、財務状況、新製品や新技術  
を中心とした開発投資及び設備投資の充実などを総合的に考慮し、  
安定的かつ継続的に配当を実施していくことを基本方針としております。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援とご協力を  
賜りますようお願い申し上げます。

2016年9月

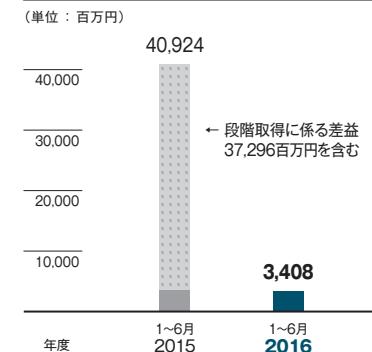
### ■ 連結売上収益

1,853 億円（1~6月）



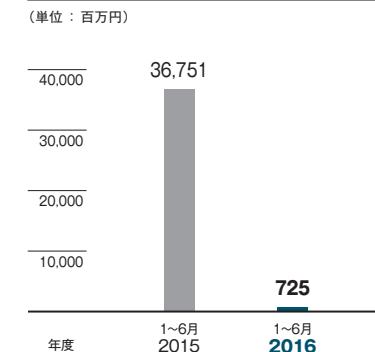
### ■ 連結営業利益

34 億円（1~6月）



### ■ 親会社の所有者に帰属する四半期利益

7 億円（1~6月）



(注) 1. 当社は、2015年度より決算期を3月31日から12月31日に変更しております。  
2. 2015年1月から6月には、DMG MORI AGとの連結数値(参考値)を記載しております。

2016年 4月・6月 **金沢プライベートショー、 IGA INNOVATION DAYS 2016を開催**

4月に石川県産業展示館を会場として、北陸エリア最大規模の地域密着型の展示会「DMG MORI 金沢プライベートショー」を開催しました。金沢プライベートショーではDMC 125 FD duoBLOCKやDMU 65 monoBLOCKなど5軸加工機を中心に15台の工作機械を展示し、自動車、航空機、建設機械、エネルギーなど様々な業種における最新の加工事例をご紹介しました。石川県、富山県、福井県の北陸3県に加え、滋賀県、岐阜県、京都府からのご来場もあり、累計約2,000名のお客様にご来場いただき、大盛況の3日間となりました。6月には伊賀事業所にて「IGA INNOVATION DAYS 2016」を開催しました。世界最大の工作機械ショールームに計58台の工作機械を展示し、自動車、航空機、建設機械、医療機器、金型、エネルギー産業など、様々な業種における最新の加工事例をご紹介しました。5日間で、9,600名を上回る過去最多のお客様にご来場いただき、会場は連日活気に溢れていました。



2016年 4月・6月 **新しいソリューション DMG MORI Technology Cyclesを発表**

Technology Cyclesとは高度に発達した同時5軸加工機、ミルターン機、レーザ超音波加工機、三次元造形機等の機械本体と、オープンイノベーションとして最先端の工具、測定器、ロボット、センサなどの周辺技術を組み合わせて、お客様の生産性向上を実現するための最適なソリューションです。当社独自の高品質組込ソフトウェアと、操作性に優れたHuman Machine Interface (CELOS) を用いて実現しています。当社は、その他様々なTechnology Cyclesでお客様と機械の融合をサポートします。



**DMG MORI gearMILL**

- + ギヤ加工用PCソフトウェア
- + 1台の機械で旋削 / ミーリング加工、ギヤ加工による全加工が可能
- + 市販工具及び汎用加工機の使用による、投資コストの低減



**ギヤスカイピング**

- + スパー及びヘリカル外 / 内歯車とスプラインに適用できる革新的な加工方法
- + サイクルにより制御された同期と工具経路
- + ターニングセンタとマシニングセンタの両方で使用可能



**エキセントリックマシニング**

- + 偏心部の加工を含め、1台のターニングセンタに工程集約することが可能
- + パラメータ入力により、偏心加工プログラムを容易に作成可能
- + ターニング / ミーリング加工の両方に対応
- + クランクシャフトの加工に最適

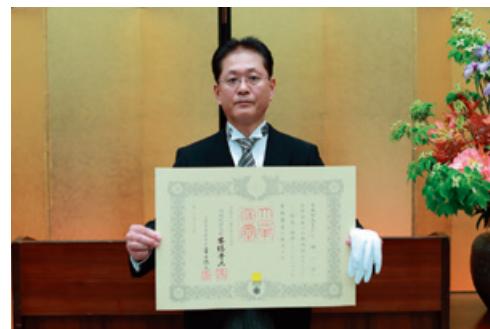


**MPC (Machine Protection Control)**

- + 主軸に振動センサを搭載
- + 振動を検出し、主軸を停止
- + 穴あけ加工やねじ切り加工の際に、切削抵抗を監視
- + 無負荷速度でのアンバランス表示

2016年 5月 **“キサゲ”鍛錬し 黄綬褒章を受章**

平成28年春の褒章において、ターニングセンタ製造部ターニングセンタ基本精度課石橋一明が黄綬褒章を受章しました。黄綬褒章は、農業、商業、工業等の業務に精励し、他の模範となるような技術や事績を有すると認められた方に授与されます。今回表彰された技能である「キサゲ作業」とは、工作機械の稼働部分の接地面に、手作業で微細な凹凸を削り出すことで、機械が滑らかに稼働するよう加工を施す作業で、高精度な工作機械を製造するために欠かせない最も重要な工程の1つです。今回の受章をこれからの励みとし、当社としても、更なる技能者の育成、技能の伝承に努めてまいります。



2016年 4月 **DMG MORI AGとの 完全統合を実現**

当社グループは、2016年4月6日にDMG MORI AGの株式12,108,437株を追加取得し、76.03%の持株比率となりました。グループの結束強化と経営資源の更なる有効活用のために、当社連結対象会社であるDMG MORI GmbHとDMG MORI AGとの間でドイツ共和国の法令に基づくドミネーション・アグリーメントの締結準備を進め、2016年7月15日にDMG MORI AGの株主総会で95%以上の賛成をもって承認を得ることができました。8月24日にDMG MORI AGの商業登記簿への登記が完了し、この度、ドミネーション・アグリーメントの発効となりました。DMG MORI AGとの一体性をより強化し、グループ内のリソースを最適化することで工作機械事業を一層発展させ、企業価値の最大化に努めてまいります。

■ 当社所有株式の異動

	株式数	持株比率 (議決権比率)	持株比率 (総発行株式数)
異動前 所有株式	47,816,421株	60.67%	60.67%
異動後 所有株式	59,924,858株	76.03%	76.03%

## 株主様向け見学会のご案内

株主様向け見学会では、当社の最新鋭の工作機械に加えて、オペレーターによる機械の説明と共に実際のデモ加工もご覧いただくことができます。開催のご案内や申し込み等は、すべて当社のホームページよりご確認くださいませ。皆様のご応募をお待ち申し上げます。



株主様向け見学会の詳細については、当社ホームページより随時ご案内いたします。

開催のご案内はこちら⇒ <https://www.dmgmori.co.jp/sp/irtour/>

## ホームページリニューアル

いま知りたい、いま欲しい、工作機械の「旬の最新情報」をお届けする、業界初のポータルサイトが誕生しました。お客様の加工課題を素早く解決したり、キーワード検索で情報収集をしたりすることが可能となっています。スマートフォンからも閲覧が可能です。ぜひ当社のホームページにお立ち寄りください。

Webサイトはこちら：  
<https://www.dmgmori.co.jp>

DMG森精機 検索

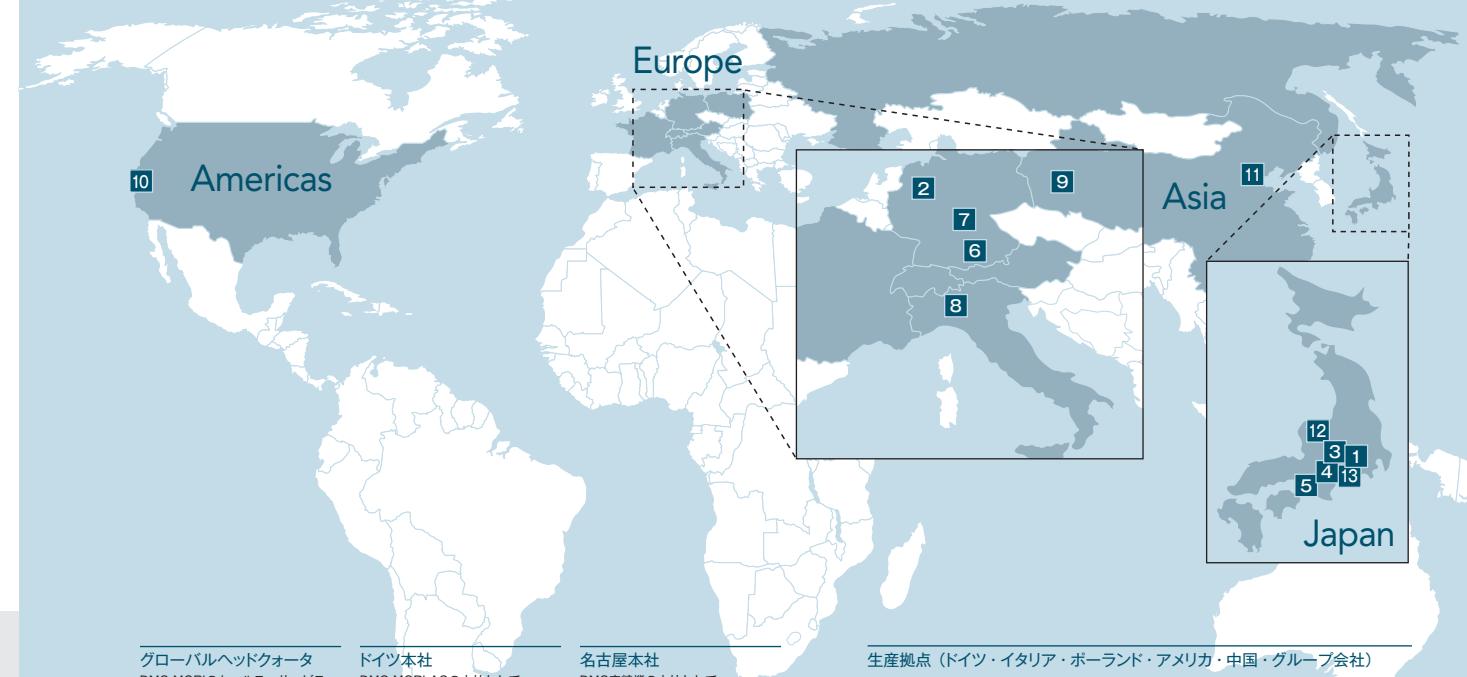


### 業界初のポータルサイト ユーザーの加工課題を 解決する技術情報を提供

- ① キーワード検索
- ② 目的・課題別検索
- ③ 技術論文・お客様事例を公開
- ④ セミナー情報・業界動向を掲載
- ⑤ 会員向け限定コンテンツを無料公開

全世界でお客様をサポートしています。

全世界のセールス & サービス **46** カ国 **165** 拠点



グローバルヘッドクォーター  
DMG MORIのセールス・サービス・マーケティングを統括します。



1 東京 (日本)

ドイツ本社  
DMG MORI AGの本社として機能します。



2 Bielefeld (ドイツ)

名古屋本社  
DMG森精機の本社として機能します。



3 名古屋 (日本)

生産拠点 (日本)



4 伊賀 (日本)



5 奈良 (日本)

奈良システムソリューション工場

生産拠点 (ドイツ・イタリア・ポーランド・アメリカ・中国・グループ会社)



6 Pfronten (ドイツ)



7 Seebach (ドイツ)



8 Bergamo (イタリア)



9 Pleszew (ポーランド)



10 Davis (アメリカ)



11 Tianjin (中国)



12 太陽工機 (新潟)



13 マグネスケール (神奈川)

※主要生産拠点、他数ヶ所

# この世界にDMG MORI

私たちの生活は衣食住に加えて、移動する、通信する、健康に暮らすなどの行動で成り立っています。

そしてそのすべての人間活動に工作機械は欠かせません。

例えば自動車は工作機械が削り出した多数の部品で構成されています。

また、ペットボトルは工作機械によって削られた金型に原料を流し込んで生み出されています。

このように、一見関係がないように思える身近な日用品も、実はもとをたどれば工作機械が関わっています。

工作機械の進化によって、私たちの生活はより豊かになります。

## Transportation

移動する



## Food

食べる



## Healthy life

健康になる



## Living

住む



## Garments

着る



## Information

知る

# 連結財務諸表(IFRS準拠・要旨)

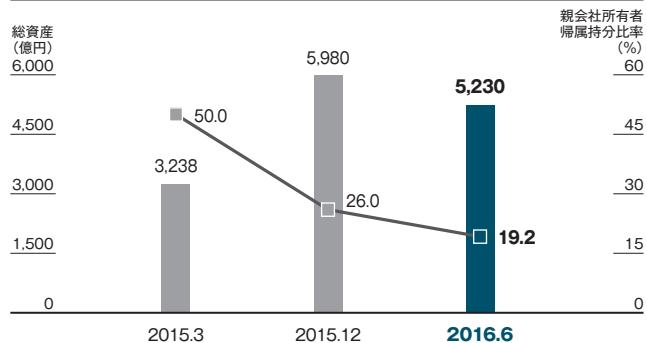
# 会社データ

## 連結財政状態計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当中間期
	2015年12月31日現在	2016年6月30日現在
流動資産	284,561	237,418
非流動資産	313,473	285,606
有形固定資産	141,919	130,658
のれん	68,218	59,278
その他	103,336	95,670
資産合計	598,034	523,024
流動負債	223,750	276,602
非流動負債	142,175	103,045
資本合計	232,107	143,377
負債及び資本合計	598,034	523,024

## 総資産／親会社所有者帰属持分比率



詳細情報は [DMG森精機 投資家](https://www.dmgmori.co.jp/corporate/ir/)

<https://www.dmgmori.co.jp/corporate/ir/>

## 連結損益計算書 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

科目	前期	当中間期
	自2015年1月1日至2015年6月30日	自2016年1月1日至2016年6月30日
収益合計	191,458	188,394
売上収益	151,906	185,320
段階取得に係る差益	37,296	-
その他の収益	2,256	3,073
費用合計	151,707	184,985
商品及び製品・仕掛品の増減	△1,893	△268
原材料費及び消耗品費	72,972	80,908
人件費	40,532	58,913
減価償却費及び償却費	6,335	8,413
その他の費用	33,759	37,018
営業利益	39,751	3,408
税引前四半期利益	39,976	2,340
四半期利益	37,930	1,973
親会社の所有者	37,336	725
非支配持分	594	1,248

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

科目	前期	当中間期
	自2015年1月1日至2015年6月30日	自2016年1月1日至2016年6月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△516	△13,282
投資活動によるキャッシュ・フロー	△63,061	△6,716
財務活動によるキャッシュ・フロー	95,287	△1,378
現金及び現金同等物に係る換算差額	568	△9,241
現金及び現金同等物の増減額(△は減少額)	32,277	△30,618
現金及び現金同等物の期首残高	8,563	83,577
現金及び現金同等物の四半期末残高	40,841	52,959

## 会社の概要

2016年6月30日時点

会社名	DMG森精機株式会社
資本金	51,115百万円
設立	1948年10月
本店(登記上)	〒639-1160 奈良県大和郡山市北郡山町106番地 TEL:0743-53-1125(代)
名古屋本社	〒450-0002 名古屋市中村区名駅2丁目35-16 TEL:052-587-1811(代)
東京グローバルヘッドクォータ	〒135-0052 東京都江東区潮見2丁目3-23 TEL:03-6758-5900(代)
主な事業内容	工作機械(マシニングセンタ、数値制御装置付旋盤及びその他の製品)の製造、販売、サービス
従業員	12,230名(連結)
ホームページ	<a href="https://www.dmgmori.co.jp">https://www.dmgmori.co.jp</a>

## 株式の状況

2016年6月30日時点

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式の総数	120,038,805株(自己株式12,904,878株を除く)
単元株式数	100株
中間期末株主数	42,391名

## 大株主

2016年6月30日時点

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
DMG森精機株式会社	12,904	9.71
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL (常任代理人 ゴールドマン・サックス証券株式会社)	5,819	4.38
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,859	2.90
JP MORGAN CHASE BANK 380055 (常任代理人 株式会社みずほ銀行)	3,844	2.89
森 雅彦	3,540	2.66
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,206	2.41
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	2,855	2.15
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578 (常任代理人 株式会社みずほ銀行)	2,739	2.06
DMG森精機従業員持株会	2,457	1.85
森 智恵子	2,287	1.72

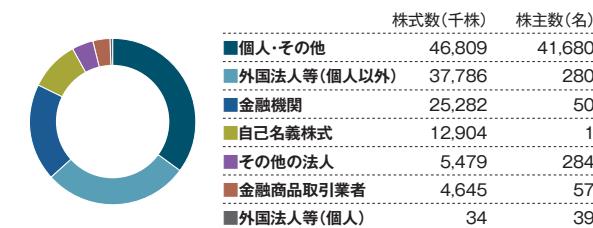
## 役員

2016年6月30日時点

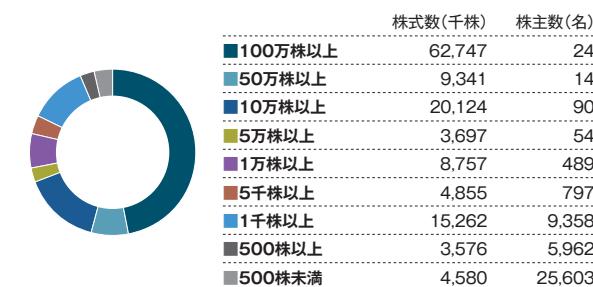
取締役社長	※ 森 雅彦
取締役副社長	※ 近 藤 達 生
取締役副社長	※ 玉 井 宏 明
専務取締役	高 山 直 士
専務取締役	小 林 弘 武
取締役	大 石 賢 司
取締役	青 山 藤 詞 郎
取締役	野 村 剛
常勤監査役	佐 藤 壽 雄
監査役	加 藤 由 人
監査役	木 本 泰 行

(注) 1. ※印は、代表取締役を示しています。  
2. 取締役の青山藤詞郎、野村剛の両氏は、社外取締役です。  
3. 監査役の加藤由人、木本泰行の両氏は、社外監査役です。

## 所有者別分布状況



## 所有株式数別分布状況



(注) 1. 2015年4月よりDMG MORI AGを連結対象としているため、前期の一部(2015年1月から3月)にはDMG MORI AGの数値は含まれておりません。  
2. 2015年1月から6月には、DMG MORI AGを連結対象会社としたことにより発生したDMG MORI AG株式評価益(段階取得に係る差益)37,296百万円が含まれております。

## 株主メモ

事業年度	1月1日～12月31日
期末配当金受領株主確定日	12月31日
中間配当金受領株主確定日	6月30日
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話:0120-782-031(通話料無料)
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 電話:0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 市場第1部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="https://www.dmgmori.co.jp">https://www.dmgmori.co.jp</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行本支店でお支払いいたします。

## ホームページのご案内

当社ではホームページにて当社の企業情報を随時開示しています。製品紹介、各種リンク、サポート情報等を掲載しているほか、IR情報のサイトでは決算短信等をご覧いただけます。

2016年6月期決算説明会補足資料を以下サイトで開示しています。



IRページ

[https://www.dmgmori.co.jp/corporate/ir/ir\\_library/](https://www.dmgmori.co.jp/corporate/ir/ir_library/)

